

Jアラートによるミサイル発射情報伝達による避難について

【事前に避難方法を確認すること】

＜全校瞬時警報システム（Jアラート）が発信された場合＞

- ・東京都が対象地域になっている場合 → 全校児童自宅待機
 - ・東京都が対象地域になっていないが、自分の住む地域が対象の場合 → 該当地域の児童待機
- ※自宅待機児童は、配信メールによる指示を確認する。

【弾道ミサイルに関する情報】

- ・弾道ミサイルは発射から極めて短時間（10分以内）に着弾する。
- ・ミサイル着弾時には暴風や破片などによる被害が想定される。

【近くに弾道ミサイルが着弾した場合】

- ・屋外にいる場合 → 口と鼻をハンカチで覆い、現場から直ちに離れ、密閉性の高い屋内（集会室、体育館倉庫等）の風上へ避難する。
- ・屋内にいる場合 → 換気扇を止め、窓を閉め、目張りをして室内を密閉する。



【初動】

- ・情報収集に努め、被害情報を確認する。配信メールの指示を確認する。
- ・着弾地点の状況や再発射等の危険も考えられるため、公的な情報を確認する。



被害がない場合

ミサイルが通過しただけの場合



被害が発生した場合

日本の領土、領海に着弾した場合

【登下校時】

- ・安全を確保させ、配信メールを保護者に送る。
- ＜自宅から学校の道中＞
- ・近くの建物（マンションや、子ども100番該当の家）の中や、地下（駐車場）に避難させる。
 - ・学校近くにいる場合は、学校内の建物に入り、屋内に避難させる。
 - ・近くに適当な建物がない場合、物陰に身を隠すか地面に伏せて頭部を守らせる。

【在校時】

＜屋外にいる場合＞

- ・速やかに教室、集会室、体育館倉庫等の屋内に避難させる。
- ・屋内に避難できない場合、物陰に身を隠すか、地面に伏せて頭部を守らせる。

＜屋内にいる場合＞

- ・学校の施設内のできるだけ窓のない空間に避難させる。
- ・窓がある部屋にいる場合、できるだけ窓から離れさせる。

【授業継続】

- ① 授業を継続し、児童は通常下校。
- ② 被害がない事、今後の予定の変更の有無等について、配信メールで保護者に連絡。

【登校について】

- ・自宅待機。
 - ・自宅待機が解除された場合、配信メールを保護者に送る。
- ※始業時間が遅れ、授業が開始されることがある。
- ・登校が困難な場合、学校に状況報告の連絡を入れてもらう。
 - ・すでに校内に児童がいる場合、校内放送にて、指示を出す。（伝達）

下校の場合

- ・被害の大きさによっては、集団下校や引渡しでの下校とする。

【授業中止・引渡し】

- ① 児童、校内施設等の状況把握。
- ② 授業を中止し、配信メール等を用い、下校時間変更の措置や保護者引渡しについて保護者へ連絡。
- ③ 学区域巡回を行い、被害状況を確認。
- ④ 翌日の対応について決定し、配信メールで保護者に連絡。